

2024年度 第3回産業医部会幹事会議事録

○開催日時：2024(R6)年9月15日（日）9：00～12：00

○開催方法：Web 会議（ZOOM）

○出欠状況一覧(敬称略)：

- ・出席：北海道(羽賀、原)、東北(各務、菅原)、関東(飯田、大橋、加藤、谷山、福本、宮本、山瀧)、北陸・甲信越(西澤)、東海(石川、遠田)、近畿(岩根、濱田、深井、森口)、中国(塩田、真鍋)、四国(斎藤、杉原)、九州(池上、大神、小田原、黒崎)、担当理事(西田)、監事(深澤、中西)、
- ・欠席(2名/31名)：北陸・甲信越(塚原) 東海(西)

0. 部会長挨拶

・宮本部会長から、第34回全国協議会(木更津)の準備状況に加え、本日の審議内容等に関して挨拶がなされた。

1. 審議事項

①前回幹事会議事録の確認【資料1】 石川

- ・事前資料に基づき議事録の確認があり、修正事項があれば1週間以内に連絡して頂きたい旨と、それを受けて確定とする流れについて報告された。

②2024年度プロフェッショナルコースについて【資料なし】 加藤

・会の準備状況(日程は2025年2月1日(土)～2月2日(日)、会場はMELONDIA あざみ野(横浜市)で、実行委員長は平野井啓一先生。テーマは「医学部では教えてくれない!「協働」の極意」で「ファシリテーション」と「コンフリクト・マネジメント」をテーマに、周りを巻き込む産業医活動の極意を、グループワークを通じて学ぶ。講師は「ファシリテーション」：谷口学先生(グロービス経営大学院・株式会社グロービス)、「コンフリクト・マネジメント」は稲葉めぐみ先生(元筑波大学附属病院 総合臨床教育センター プロジェクトマネージャー)。開催形式は現地開催のみで、募集人数は40名。ここ数年、参加者の掘り起こしと幅広い部会員へのサービス提供を意図して、Web開催も行ってきたが、多額の費用がかかること、Aコースができたことにより参加者の掘り起こしと幅広い部会員へのサービス提供ができることになったため、元の開催形式に戻すことになった。産業医部会長、Pコース担当幹事の当日参加については、例年通り、実行委員会から連絡が来る予定等々)について口頭で説明がなされた。

・宮本部会長から産業医部会等の関与状況についての確認(2/1(土)当日、宮本部会長は日中に講師を務める予定があるため、夕方の懇親会からご参加予定)がなされた。

・真鍋幹事から外部招聘の際の依頼流れの確認があり、民間企業から講師にお呼びする際に、公益社団法人である学会が特定の企業のPRをすることについては、一定の基準が必要ではないかという意見がなされ、講師の謝礼(5万円が上限)についての認識共有がなされた。

③ジュニアPコース(産業医アソシエイト(Associate)コース：Aコース)【資料2】 深井

- ・事前資料に基づきコースの開催準備状況について口頭(詳細は事前資料を参照の事)で説明がなされた。

- ・各幹事から種々の質問と提案があり、コースの趣旨(理事会への報告状況の経緯含む)、部会の各役職の関与のあり方等々に関する意見交換がなされた。名称に関しては検討委員の先生方に本日の幹事会での意見交換内容をお伝え頂き、基本的には原案通りですすめて頂く流れとなった。

④専門医制度(社会医学系、日本産業衛生学会)について【資料なし】 大神、池上

- ・2024年度の学会専門医試験の実施状況(社会医学系専門医コースの実施状況含め)について口頭で報告がなされ、本委員会等々への委員の医部会幹事への変更のあり方についての意見交換(今までの選任の経緯含め)がなされた。

⑤医部会報について(編集委員会)【資料3】 原

- ・事前資料に基づき各号の発行準備状況の説明がなされた。今回新たに専門医に合格された方のうち5名の先生の連絡先(メルアド)が不明であり、幹事会 ML で補填要請があった。

⑥ポスター賞選考と表彰方法について【資料4】 西澤

- ・事前資料およびチャット共有内容(演題数は53演題)に基づき準備状況等々含む今後の流れについて報告がなされた。表彰数については、5月の幹事会で「産業保健看護部会は2演題選出されていること、医部会員も増えていることから、医部会のポスター賞も2演題表彰してはどうか」というご意見についての審議があり、宮本部長より看護部会が2演題表彰となっている背景の共有がなされ、上位2演題とする方向性の議論がなされた。
- ・予算計上の課題から、2024年度は1演題のみとし、2025年度以降に2演題とする流れ(予算化や理事会報告、表彰対象の選考のあり方含め)の確認がなされた。(2演題選出の場合、「研究」「実践」に分ける意見も出されたが、内容が両者を含み分類が困難な演題も多いことや選考過程が複雑になることから、分類せず選出することとなった)

⑦学会ホームページ、部会ホームページ、学会のメルマガについて【資料なし】 黒崎

- ・ホームページの運用状況(添付資料の運用上の注意点含め)、学会メルマガの編集状況等々について口頭で説明がなされた。

⑧第34回全国協議会(木更津)自由集会について【資料なし】 宮本、谷山

- ・テーマ、演者について、口頭で説明がなされた。

⑨第98回学会(仙台)医部会フォーラムについて【資料5】 各務

- ・事前資料に基づき開催準備状況(各演者のテーマに基づく役割含む)について口頭で説明がなされた。

⑩第98回学会(仙台)医部会企画シンポジウムについて【資料なし】 宮本

- ・今回アンケートの結果、意見を受け、部会としては実施しないことになったことについて口頭で説明がなされた。

⑪提言・産業保健サービスを小規模事業場(第98回学会シンポ)【資料6】 宮本

- ・事前資料に基づき口頭で説明がなされ、登壇者(50人未満の事業場に対する取り組みの現状含む)についての意見交換がなされ、登壇者は池上幹事に依頼する事となった。

⑫第35回全国協議会(徳島)自由集会について【資料なし】 斎藤、杉原

- ・会の準備状況(構成概要含む)について口頭で説明がなされた。

⑬産業保健専門職の倫理指針を検討するWG 森口・西澤

- ・事前資料に基づき口頭で説明(5月の総会の際の意見交換状況含む)がなされ、実務上で経験する倫理的葛藤について幹事間あるいは会員の意見をまとめていくあり方等々についての意見交換がなされた。

⑭新任幹事の理事会承認関係(確認と対応)【資料7】 大橋

- ・事前資料に基づき新幹事4名について理事会承認が必要となることについて、口頭で説明(現状の手続き状況の確認含む)がなされた。現状担当割については未承認を理由とした変更は不要と確認された。
- ・2025年度以後の幹事更新手続きについても資料に沿って説明がなされ、今後その案に沿って手続きを進めることが確認された。

⑮役割分担表について【資料8】 宮本

- ・資料に沿って説明がなされた。専門医制度関係については、議論を重ねて検討することとなった。
- ・98回大会の部会長表彰の選考責任者は、97回大会に続き遠田幹事に担当いただくこととなった。

⑯次回幹事会の日程について 石川

- ・次回幹事会の日程確認と次々回幹事会の開催についての意見交換がなされ以下の通りとなった。
- 次回幹事会：2024(R6)年10月3日(木)20時から(木更津 現地のみ)
- 次々回〃：2025(R7)年2月16日(日) Web

2. 報告事項

①第97回学会(広島)の報告 真鍋、塩田

- ・真鍋幹事より口頭で開催概況の報告がなされ、塩田幹事より事後報告の概要の報告がなされた。

②第34回全国協議会(木更津)の準備報告 宮本

- ・会の準備状況(日程、構成概要、実地研修の絡みで開始時刻に遅れてしまわないようにバス等々の運用を検討している点の懸念事項、当日現地で登壇できない場合の事前収録対応含む)について口頭で説明がなされた。

③第98回学会(仙台)の準備報告 菅原・各務

- ・テーマ、日程、会場準備状況、プログラムの検討状況の報告が口頭でなされた。

④第 35 回全国協議会の準備状況について 斎藤・杉原

- ・テーマ、日程、会場準備状況、プログラムの検討状況の報告が口頭でなされた。

⑤第 99 回学会（近畿地方会）について 岩根・森口

- ・日程、会場準備状況、プログラムの検討状況の報告が口頭でなされた。

⑥各種委員会報告（生涯教育、政策法制度、学術、ダイバーシティ、広報） 担当幹事

- ・遠田幹事より生涯教育委員会の口頭でGPSの選考、各種企画について報告がなされた。
- ・森口副部長より政策法制度委員会で、小規模事業場の産業保健についての提言について、および98回シンポジウムについて報告がなされた。
- ・森口副部長より学術委員会での検討項目について報告がなされた。また、scicom.について紹介があった。
- ・大橋幹事よりダイバーシティ委員会での全国協議会でのフォーラム開催予定と報告がなされた。
- ・黒崎幹事より広報委員会として、97回学会でのユニバーサルデザインに関する調査結果について今後報告する旨、報告がなされた。

⑦各担当幹事報告 各幹事

- ・特になし

⑧理事会報告【資料7】 西田

- ・西田幹事より資料をもとに理事会での検討内容等々についての報告がなされた。

⑨四部会長会議報告 宮本

- ・4部会とも表彰することとなり、歯科部会は部会員以外も対象とすること、第34回協議会では、4部会シンポジウムをメインシンポジウムとして開催予定であることが報告された。

⑩各地方会活動報告 各幹事

- ・全地方会活動について、各担当幹事から口頭で其々の活動状況について報告された。

⑪電子掲示板の運用について 石川

- ・医部会フィアルの共有フォルダ管理について、学会事務局と検討した結果、コストの関係でしばらくは現状の電子掲示板での運用を継続すること、また添付ファイルはMLでは用いず、電子掲示板の利用を推奨する旨の説明があった。

以上